

# 札幌の変遷を振り返つて

## 個性的なマチづくりを考えよう

くつろいだ雰囲気でマチづくりを語り合おうと、札幌のシンボル・時計台（中央区北一西二）を会場に札幌の歴史を振り返るイベン

市民組織「まちばる」

ら開かれる。市街地の変遷をスライドでたどりながら、札幌らしさとは何かを思い描く。

にかけての建物や人々の暮らしが記録した写真七十八枚を見た後、時計台前で長年店を営む「マリヤ手芸店」の松村耕一社長、食農の主催。明治から昭和わくわくねつとわく

北海道（札幌）事務局長の長尾道子さんが、しみながら、まちづくり論議を続ける。札幌でのライフスタイルについて対談する。「まちばる」は、札幌八月に立ち上げる川口剛さんが、肩ひじ張らずに札幌の将来を語れる場を作ろうと、「まちばる」は、札幌市が一昨年設置した。名称は、スペイン語の「マチ」と「バル」にちなんだ。川口百田。申し込みは六日までに「アクス613」に「まちばる」を語れる場にし、参加料は時計台会場0.co.jpで。

（佐藤元治）